

2024年



3月

草の根

BULLETIN OF THE AICHI COUNCIL AGAINST A&H BOMBS

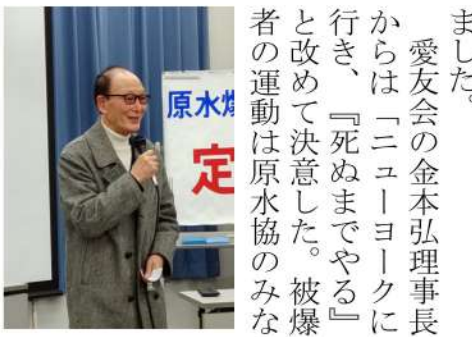
発行 原水爆禁止愛知県協議会
発行人 佐竹康行
〒461-0004
名古屋市中区葵1-22-26
Tel(052)932-3219
Fax(052)931-2651
gensuikyo@lime.ocn.ne.jp
毎月1回 6日発行
月40円/年間480円

被爆80周年にむけ、 大きな県民世論をつくり出そう 2024年定期総会を開催

2月18日(日)、原水爆禁止愛知県協議会2024年定期総会を民主会館にて行いました。

総会の前に、神戸女学院大学名誉教授の石川康宏さんを招き、「平和の準備を世論の多数に」と題し、記念講演を行いました。

石川さんは冒頭、イスラエルのガザ攻撃をめぐり、アメリカの48都市議会が停戦決議を決議したことや、民主党下院議員からも停戦の声が上がっていることを紹介しながら、「国連の中で「人道的停戦」の決議に、棄権・反対していた国が賛成に



日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

県内109,280筆

2024年2月10日 現在

さんに支えられている。被爆者の平均年齢は85歳となり、来年の被爆80年は最後のたまたかいになる。愛知から全国を巻き込むような運動を起していきたいと思います。そのために力を貸してほしい」と連帯のあいさつがありました。

次いで佐竹事務局長が運動方針の議案報告を行いました。NYでの第2回締約国会議の報告と2023年の県内での原水協の取り組みを、パワーポイントで写真を見ながら情勢とともに報告しました。

被爆80周年をめざして プロジェクト80th 被爆者とともに 核なき世界を見よう キャンペーン

大村代表理事から「被災70周年(2024年)から「被爆80周年(2025年)」をめざして「プロジェクト80th

被爆者とともに核なき世界を見よう」キャンペーンの行動提起が行われました。2月3、4日に開かれた日本原水協全国理事会で「ビキニ被災70年から被爆80年へ：非核日本をめざす全国キャンペーン」が呼びかけられ、愛知県もこの呼びかけに応じて、キャンペーンの提起を行いました。

「核兵器を使わせない」「戦争をさせない」のたかいと取り組みを担え



る、草の根からの世論と運動をおこそう。被爆者の願いである核兵器廃絶をめざし、反核平和の県民世論の大きな結集をつくりだそう。すべての行動、企画、学習会で「被爆者とともに」を位置づけよう、などのスローガンと、2024年、2025年の主な大会や行動の意義と目標の「ホップ・ステップ・ジャンプ」と提起されました。

2024年3・1ビキニデーを被爆80年をめざすキャンペーンの大きな「ホップ」と位置付け、4・5月の新歓期には高校生、大学生、若い世代が共感できる反核平和についての企画を、「ステップ」の原水爆禁止2024年世界大会には、すべての加盟団体から複数の参加をめざし、主会場である広島の世界大会参加で200名の目標を掲げました。

2025年には、TPNW第3回締約国会議に愛知県代表団を組織し、被爆80年原水爆禁止世界

大会は広島・長崎の両方をメインとした世界大会となるので、2000年代最高の600人の参加者を愛知県から送りだし、大きな「ジャンプ」となるように取り組みを進めて、最後に「被爆80年愛知県民のつどい(仮)」を全県民的な反核平和のつどいとして、名古屋市公会堂などで、2千人規模で開催して、「プロジェクト80th」の仕上げをし、次のステージをめざすと、提起されました。

また、運動を広げるために2024年あいち平和行進の成功、禁止条約参加署名の目標である県民750万人の5%にあたる35万筆を2025年に達成させること。「非核」「平和」を冠する自治体宣言を、愛知県含めて、すべての自治体で実現させること。禁止条約参加を求める意見書の議会決議を2025年には過半数の自治体での意見書提出をめざすことなどの行動も提起されました。

地域・団体から 草の根の活動報告

討論では、地域原水協から毎月の6・9行動や8月の平和の鐘つき、原爆パネル展などの取り組みの報告がありました。

稲沢市原水協の山岸さんは、「非核・平和都市宣言」

をあげた時に、2万5千筆の署名を集め、その勢いを力に「宣言」をあげたこと、その後は毎年、自治体交渉を行い平和行政を発展させてきたことを語りました。

愛知県平和委員会の矢野事務局長からは、愛知県にミサイル製造の工場や軍需産業が集中している実態の紹介があり、今、岸田政権が進めている防衛装備移転の改悪を許してしまつと「日本、愛知で作られた武器で人が殺されることになる。あつてはならないこと」と改悪中止を求める署名を訴えました。

昨年、加盟団体となった新日本スポーツ連盟の大塚さんは、「名古屋集中行進の日には「平和大好きマラソン」、高蔵寺弾薬庫1周マラソンなど反核・平和の取り組みを原水協と共に取り組んできた。スポーツで平和の

スローガンを掲げているので、これからも共にがんばっていきましょう」と発言がありました。



定期総会で提案された運動方針案、決算・予算案、役員案、会則の一部改正案は、参加者の拍手で承認されました。

2024年3・1ビキニデー 愛知県代表団結団式を開催!



大軍拡を推し進める中で愛知が兵器製造の拠点となっていることなどを話し、「平和は力ではなく法による解決ができる国際社会をつくること。草の根からの平和運動はその支えとなる」と語りました。

2月23日、民主会館にて2024年3・1ビキニデー愛知県代表団結団式を行いました。

はじめに、大村代表理事を講師に情勢学習が行われ、ビキニ被災とその後の原水爆禁止運動の発展の歴史や、今、「核抑止力論からの脱却」が国際的な大きな流れになっていること、日本政府が

ビキニデー参加者の取り組み交流では、新婦人副会長の小池さんは「しっかり学びながら、参加したい」と話し、全国の新婦人で日本の禁止条約参加を求める署名を1人5筆を集めようという運動が取り組まれていることが紹介されました。港区平和委員会の加能さんは「バスツアーのいいところは、バスの中で県内の平和運動の交流ができる」とビキニデーに参加する魅力を語りました。

愛知で学生のネットワークを 高橋悠太さんと懇談会

2月12日、県内の学生が平和について考え、行動できる場を作るために、「カクワカ広島」「KNOW NUKES TOKYO」の設立の経験を持つ高橋悠太さんを講師に招き、どうしたら今の学生に合ったつながりが作

れるのかを考える懇談会を行いました。高橋さんは、どうやって「思い」でつながることができるかを考えることが大切だと話しました。核の問題にしても、広島、長崎だけでなく、ビキニをはじめとして多くの核



ロシアのウクライナ侵攻2年 栄に「NOWAR!」の音が響く



2月24日、ロシアのウクライナ侵攻から2年が経ちました。この日、日本ウクライナ文化協会が呼びかけ、ロシアの侵攻に抗議し、ウクライナに平和を望む人々が名古屋・栄の光のひろばに集まり、デモと集会が行われました。約200人が集まり、栄の街を「戦争止めよう」

実験が核保有国が植民地支配していた地域で行われたことは、環境問題、人権・差別問題ともつながり、そのことを伝えることで「今」の問題として

でとらえてもらえるのではないかと語りました。また、関わったプロジェクトで、うまくいった例をあげながら、まず自分たちがどんな活動だったから関われるかをきちんと話し合うこと、それぞれのペースで参加できること、生活環境の変化で一度活動から離れても、また戻りやすいコミュニティにしていくことが大事だと語りました。そのため

「ウクライナに平和を」「子どものために平和を守ろう」と訴えながらデモ行進を行いました。光の広場での集会で、在日のウクライナの人や避難してきた人から「ロシアは少なくとも8000発のミサイルを撃ち、数十万人のウクライナ人が犠牲になった」「今も被害が広がっていることを忘れないでほしい」と訴え、集まった募金で「マリウポリなどに支援物資を買って女性や子どもたちのために配ることができた。とても感謝している」と支援に対して、お礼の言葉を述べられていました。

愛知県平和委員会青年・学生部が中心となり立ち上げた「Peace For Ukraine」のメンバーからは、「2年前から毎月のように栄でスタンディングと人道支援募金に取り組んできました。プーチン大統領は核兵器の使用をちらつかせてい

るが、日本は核兵器によって甚大な被害を受けた。日本人として核兵器の使用にNOと言いたい」と発言がありました。会場では、避難者が手作りしたトートバックなどの支援バザーも開かれていました。

2月13日、原水爆禁止世界大会実行委員会総会開催され、2024年世界大会開催の呼びかけが発表されました。呼びかけでは、2025年の被爆80年の前に開かれる今年の世界大会は、「生きていく間に核兵器のない世界の実現を」という被爆者の願いをかなえる上でも、「核兵器のない世界」の実現にとっても、これまでもついで大きな意義をもっている」と訴え、被災70年・1ビキニデーから被爆80年に向けてスタートする「ビキニ水爆被災70年から被爆80年へ」非核の日本をめざす全国キャンペーン（非核日本キャンペーン）を、有権者の過半数が署名した「ビキニ署名のように」を合言葉に、「非核日本キャンペーン」を全国の地域、職場、学園にひろげ、非核平和の



世界大会実行 委員会を開催 「非核日本 キャンペーン」 を広げよう

「被爆者行脚」報告会
2023年度の行脚の成果を交流するとともに、愛知県内の非核平和行政と被爆者行脚と被爆者支援のありかたを考える報告会です。どなたでも参加できます。
日時:3月23日(土) 13:30~15:30
会場:名古屋市北生涯学習センター
内容:行脚の結果・県内の非核平和行政
今後の行脚と被爆者支援について
参加費:無料

原水爆禁止2024年世界大会の日程

原水爆禁止2024年世界大会の日程
【広島】
8月3日(土) 国際会議 開会総会/セッション1・2・3 10:00~19:00 広島県JAビル
4日(日) 国際会議 閉会総会 10:00~11:00 広島県JAビル
4日(日) 世界大会-広島 開会総会 14:00~16:30 グリーンアリーナ
5日(月) 分科会・うごく分科会 9:30~16:30 広島市内
6日(火) 世界大会-広島 閉会総会/ヒロシマデー集会 10:30~13:00 グリーンアリーナ
【長崎】
8月8日(木) 世界大会-長崎 フォーラム
9日(金) ナガサキデー集会 10:30~13:00 長崎市民会館体育館

「被爆者行脚」報告会
2023年度の行脚の成果を交流するとともに、愛知県内の非核平和行政と被爆者行脚と被爆者支援のありかたを考える報告会です。どなたでも参加できます。
日時:3月23日(土) 13:30~15:30
会場:名古屋市北生涯学習センター
内容:行脚の結果・県内の非核平和行政
今後の行脚と被爆者支援について
参加費:無料

原水爆禁止2024年世界大会の日程
【広島】
8月3日(土) 国際会議 開会総会/セッション1・2・3 10:00~19:00 広島県JAビル
4日(日) 国際会議 閉会総会 10:00~11:00 広島県JAビル
4日(日) 世界大会-広島 開会総会 14:00~16:30 グリーンアリーナ
5日(月) 分科会・うごく分科会 9:30~16:30 広島市内
6日(火) 世界大会-広島 閉会総会/ヒロシマデー集会 10:30~13:00 グリーンアリーナ
【長崎】
8月8日(木) 世界大会-長崎 フォーラム
9日(金) ナガサキデー集会 10:30~13:00 長崎市民会館体育館

日本を切り開く大会としましょう、と呼びかけられました。